

地方行政サービス改革の取組状況等(令和4年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
082015	茨城県	水戸市	中核市

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.4%
本庁舎の夜間警備			89.8%	98.2%
案内・受付			90.4%	86.3%
電話交換			91.1%	90.2%
公用車運転	○	現状を維持する。	75.0%	87.6%
し尿収集			96.4%	98.1%
一般ごみ収集			98.4%	97.2%
学校給食(調理)			90.3%	73.2%
学校給食(運搬)			100.0%	91.0%
学校用務員事務	○	学校用務員は、職員の退職に合わせて、会計年度任用職員の活用を図ることとしている。	33.9%	38.2%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			98.4%	97.2%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.2%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.8%
ホームページ作成・運営			100.0%	98.1%
調査・集計			98.4%	96.2%

※令和4年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村)導入率
体育館	6	6	100.0%		0		67.1%	40.8%
競技場 (野球場、テニスコート等)	31	31	100.0%		0		65.9%	49.2%
プール	4	4	100.0%		0		76.7%	52.6%
海水浴場	0	0	0		0		21.4%	13.5%
宿泊休業施設 (ホテル、国民宿舎等)	0	0			0		95.2%	84.8%
休養施設 (公衆浴場、海・山の家等)	0	0			0		91.0%	75.4%
キャンプ場等	0	0			0		71.4%	59.7%
産業情報提供施設	0	0			0		65.3%	74.9%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		62.2%	65.7%
開放型研究施設等	0	0			0		52.6%	43.0%
大規模公園	4	4	100.0%		0		58.1%	44.6%
公営住宅	23	23	100.0%		0		67.0%	16.5%
駐車場	8	8	100.0%		0		72.4%	36.8%
大規模公園、畜場等	3	0	0.0%	公園基地は、平成28年度から業務委託としている。畜場は、民間活力の活用の検討を進めているところであるため、方向性が決定されるまでは直営である。	1	畜場は、民間活力の活用の検討を進めているところであるため、方向性が決定されるまでは直営である。	23.9%	23.3%
図書館	6	5	83.3%	図書館は、6館のうち地区館5館に指定管理を導入している。残りの1館である中央図書館は、直営で運営することとしている。	1	図書館は、6館のうち地区館5館に指定管理を導入している。残りの1館である中央図書館は、直営で運営することとしている。	13.1%	21.2%
博物館 (博物館、自然科学、歴史、民俗等)	7	1	14.3%	博物館、大車庫ふれあい公園は、直営で運営することとしている。	2	博物館、大車庫ふれあい公園は、直営で運営することとしている。	46.4%	28.6%
公民館、市民会館	1	1	100.0%		0		30.1%	23.6%
文化会館	0	0			0		61.3%	52.1%
合宿所、研修所等 (青少年の家を含む)	1	0	0.0%	少年自然の家は、当面直営で運営することとしている。	1	少年自然の家は、当面直営で運営することとしている。	52.0%	49.8%
特別養護老人ホーム	0	0			0		83.3%	75.6%
介護支援センター	0	0			0		100.0%	47.9%
福祉・保健センター	23	17	73.9%	こども発達支援センター及び高齢者センターは、直営で運営することとしている。	5	こども発達支援センターは、直営で運営することとしている。	76.4%	52.9%
児童クラブ、児童館等	3	2	66.7%	ふれあいの館は、直営で運営することとしている。	1	ふれあいの館は、直営で運営することとしている。	35.1%	24.0%

(3)窓口業務

総合窓口の設置	設置状況	設置済	→	予定時期	-
BPRの手法を用いた業務分析	取組状況		→	業務改革効果	

窓口業務の民間委託	
委託状況	委託予定無し

【参考】			
類似団体		全国(市区町村分)	
総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
40.3%	83.9%	15.3%	28.8%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	→	対象部局	対象業務
実施予定無し	委託予定無し		首長部局 企業局 教育委員会 その他	給与 旅費 福利厚生 財務会計

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

人事課において非常勤職員の報酬等に係る支給事務や社会保険関係業務の一元化を図るなど、事務の一元化に取り組んでいるものの、総務事務センターの設置には至っていない。

【参考】	
類似団体	
実施率	委託率
61.3%	11.3%
全国(市区町村分)	
実施率	委託率
35.7%	3.5%

BPRの手法を用いた業務分析	取組状況	→	業務改革効果
----------------	------	---	--------

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	→	タイプ	
			自治体クラウド	
			単独クラウド	○

【参考】	
実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
12.9%	56.5%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
46.5%	53.5%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	→	策定予定	
				策定予定時期

【参考】	
類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.9%

(7)地方公会計の整備

作成済	○	→	作成予定	
				作成完了予定年度
				0

【参考】	
類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
93.5%	91.4%

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体